



3月9日（土）に下道沿道地権者等の方にお集まりいただき「第6回下道意見交換会」を開催しました。意見交換会に先立ち、指扇東部自警消防団の方から内野本郷地区の防災の現状についてお話しをうかがい、その後、検討中のオープンスペースづくりの流れについて市から説明があり、話し合いました。

## ◆自警消防団の方からのお話

### ○火災時の出動について

- ・火災の際は、安全かつ緊急に現場に駆けつけなければならない。消防車は後退に時間がかかり、誘導も必要となるので、できれば後退はしたくない。
- ・自警消防団の消防車は幅が1.7mだが、消防署の車両は一回り大きい。狭い道ではそもそも入っていけない。
- ・昔は空き地が多かったので切り返しに使わせてもらっていたが、住宅が増えたため消防車の通り抜けが厳しい場所が数か所ある。
- ・通報があれば消防車は6～7台は駆けつける。消防車だけではなく救急車やパトカーも出動するので、車両数はもっと多くなる。細い道では身動きできなくなる。
- ・小型のポンプもあるが、小型といっても台車や軽トラで運ぶ必要がある。

### ○大震災時の出動について

- ・消防署からの指令があってから、自警消防団は出動することになる。
- ・普段は消防署からの指令がなければ勝手に動くことはできない。
- ・消防自警団は最低3名揃わないと出動できないことになっている。
- ・大震災時には自分たちのまちは自分たちで守ることが重要になってくる。

### ○オープンスペースについて

- ・すれ違いできる場所があれば、非常に有効だと思う。
- ・自警消防団の消防車の長さは4.7mだが、消防署の消防車は10m近い長さのものもある。
- ・車は真横に移動できないので、スペースに出入りするための空間が前後に必要となる。



## ◆意見交換会での主な意見等

### ○オープンスペースづくりの流れについて

- ・間口はすべて開けるとしているが、全部は難しいけど、部分的には協力できるという地権者もいるだろう。
- ・車がスピードを出したり、建物に接近しすぎないように安全対策が必要。
- ・道路と敷地の間に段差を設けないとなっているが、敷地に車がむやみに入っこないためにも、2、3cmぐらいの段差があった方がよい。
- ・立木の移設や庭の築山などの移設にかかる費用も補償してほしい。
- ・固定資産税の優遇はぜひとも検討してほしい。
- ・自分が協力しても、他の人が何も協力してくれないのでは、協力は難しい。

### ○今後の進め方について

- ・せっかく良い案を市が検討してもらっても、下道意見交換会には肝心の権利者が出てこない。
- ・協議会の目的は地区計画の検討だったと思う。下道を地区計画として検討しないのであれば、自治会が主体的に係った方がいいのではないかな。
- ・宮原指扇線の南北でも性格が違う。下道全線で話し合うことは難しいのでは。
- ・協力してもらえる人の合意をとって進めていくしかないのでは。
- ・実際に土地を出せる人は少ない。その少ない人が協力できるかどうか。
- ・話し合いの場に参加するとその場の大多数の意見に呑み込まれるのを嫌っている人もいよう。
- ・せっかくここまで話が進んだので、地権者の方がちゃんと集まって話し合うことができれば良いと思う。



○今回市から説明のあったオープンスペースの流れについて引き続き検討を進め、沿道地権者のみなさんと意見交換をしていきます。

○今後の検討体制や沿道地権者のみなさんの意向把握や合意形成の進め方について検討していきます。